

報道関係者各位

グランフロント大阪 事業者12社

NTT都市開発株式会社	株式会社大林組
オリックス不動産株式会社	関電不動産株式会社
新日鉄興和不動産株式会社	積水ハウス株式会社
株式会社竹中工務店	東京建物株式会社
日本土地建物株式会社	阪急電鉄株式会社
三井住友信託銀行株式会社	三菱地所株式会社

一般社団法人グランフロント大阪 TMO  
一般社団法人ナレッジキャピタル 株式会社 KMO

## グランフロント大阪 1周年記念イベント 「GRAND THANKS FESTA」

### 『Art Kitty Parade』参加アーティスト決定！

4月15日（火）～4月24日（木） オープンアトリエ開催

4月25日（金）～5月6日（火・休）完成作品館内展示

グランフロント大阪（大阪市北区大深町）は、本年4月26日（土）に迎えるまちびらき1周年に合わせて、この街にお越しいただいた皆さまへの感謝の気持ちをお伝えする1周年記念イベント「**GRAND THANKS FESTA**」を開催いたします。

メインイベントでは、世界100ヶ国以上で愛され、今年で40周年を迎える「ハローキティ」をアートモチーフとして採用し、土屋アンナ氏（モデル）、坂下千里子氏（タレント）、田名網敬一氏（アーティスト）、加茂克也氏（ヘアデザイナー）をはじめとした各界の著名なアーティストや大阪・関西を舞台に活躍するアーティストに一般応募者を加えた、全30名のアーティストが思い思いに“感謝”の気持ちを表現した、アートキティ展「**Art Kitty Parade**」を開催いたします。

また、街の中央に位置する「ナレッジプラザ」では、注目の建築家・谷尻誠氏によるハローキティをモチーフにした巨大アートを展示いたします。

アーティストたちの感性溢れる「アートキティ」を館内各所に展示するほか、約150のショップ＆レストランが展開する「1周年限定商品・ノベルティ」、「世界一ためになる、ひまつぶし。」をテーマにしたナレッジキャピタル1周年記念イベントなど、さまざまなコンテンツを展開いたしますので、グランフロント大阪の1周年でココロ踊る新しい“気づき”や“発見”をぜひお楽しみください。



# 1周年記念イベント「Art Kitty Parade」開催概要

## アートモチーフは、ハローキティ！

世界約109ヶ国で展開され、今年で40周年を迎える「ハローキティ」。ひとりひとりと感情を共有するために「口を描かない」というデザインで展開されているハローキティのホワイトモックをアートモチーフとして採用し、アーティストたちによる“感謝”を表現した新しいアートキティ展「Art Kitty Parade」を開催いたします。

アーティストたちの感性溢れるアート作品との出会いを通じて、自分なりの表現方法の発見やひらめき、新たな探究心との出会いなど、未来につながる“気づき”や“発見”との出会いをお楽しみください。

- ・ 開催期間 4月25日(金)～5月6日(火・休)
- ・ 展示場所 ナレッジプラザ、館内オープンスペースほか
- ・ 主催 グランフロント大阪
- ・ 協力 株式会社サンリオ



ハローキティ  
ホワイトモックイメージ

## 参加アーティスト

各界の著名アーティストや大阪・関西を舞台に活躍するアーティストのほか、地元大阪のデザイン専門学校や一般応募者を含めた、全30名(組)の独創的な作品をお楽しみください。

アーティスト名	職業	プロフィール
土屋アンナ	モデル/女優/歌手	1998年、「SEVENTEEN」のモデルとしてデビュー。2004年には映画『下妻物語』に女優として出演し、日本アカデミー賞新人賞・助演女優賞、ブルーリボン賞最優秀新人賞をはじめとする8個の賞を受賞。2005年夏から音楽活動を本格的に開始し、パリで行なわれた“JAPAN EXPO”や日本最大級のロック・フェス“SUMMER SONIC”にも出演。シンガー、ファッションモデル、作家、女優、映画監督としてマルチな活動を続けている。
坂下千里子	タレント	1994年、『アルペン』のCMオーディションにてグランプリとなりCM出演にてデビュー。その後TBS系列のTV番組『王様のブランチ』の番組リポーターとして出演し人気者になる。さらに『スリムビューティーハウス』のCMでバッチリ、チリ脚のキャッチフレーズとともに話題に。以来、バラエティー番組を中心に多数出演している。
NNNNY	デザインユニット	編集者の伊藤ガビン、グラフィックデザイナーのいすたえこ、イラストレーターの萩原慶、プログラマーの林洋介、元 NY 支局のマット・ファーゴ、編集&裁縫のたなか保留ともみ によるデザインユニット NNNNY(えぬえぬえぬえぬわい)。紙、WEB、プロダクト問わず活動中。物理世界の店舗＝「PHYSICAL TEMPO」運営。
ウイスト・ボンニミット	マンガ家	1976年、タイ、バンコク生まれ。愛称はタム。1998年バンコクでマンガ家としてデビュー。2003年、神戸に留学。2006年まで日本に滞在。マンガ代表作『ブランコ』『ヒーシーイット』『ママアン』。2009年「ヒーシーイットアクア」が文化庁メディア芸術祭マンガ部門奨励賞受賞。アニメーション作品にSAKEROCKや透明雑誌のPVなど。ミュージシャンとしても活動しており、細野晴臣、阿部海太郎、星野源などと共演。2013年、原田郁子と共にCD「Baan」を発表。現在バンコク在住。
遠藤一郎	未来美術家	2006年より、車体に出会った人々の夢が書かれていく『未来へ号』で車上生活をしながら全国各地を走り、アートイベントなどで展示やバスオーガニズーションを行う。夢をつないで大空に飛ばす連風プロジェクト「未来龍大空風」を各地で開催。2012年から、日本列島をキャンパスにGPSでメッセージを描く「RAINBOW JAPAN PROJECT」を立ち上げ、列島全体に『いつせ～の～せ』→ARIGATO→』のメッセージを描く。主な参加イベントに「六本木アートナイト 2012,2013」、「WAF フェスティバル 2012,2013,2014(インド)」、「六本木クロッシング展 2013(森美術館)」他。2008年から『美術手帖』(美術出版社)にて連載中。

大巻伸嗣	現代美術家	1971年岐阜県生まれ。東京都在住。「トーキョーワンダーウォール 2000」に『Opened Eyes Closed Eyes』で入選以来、『Echoes』シリーズ(資生堂ギャラリー、水戸美術館、熊本現代美術館、東京都現代美術館等)、『Liminal Air』(東京ワンダーサイト、ギャラリーA4、金沢21世紀美術館、アジアパシフィック・トリエンナーレ 2009、箱根彫刻の森美術館等)、『Memorial Rebirth』(横浜トリエンナーレ 2008)など、展示空間を非日常的な世界に生まれ変わらせ、鑑賞者の身体的な感覚を呼び覚ますダイナミックなインスタレーション作品やパブリックアートを発表している。
加茂克也	ヘアデザイナー	1988年、モッズ・ヘア所属。1990～1992年、渡仏。帰国後、ファッション雑誌を中心に広告やショーなど幅広く活躍。1996年から JUNYA WATANABE、1997年から UNDERCOVER のパブリックコレクションを現在も手掛けている。2003年、毎日ファッション大賞グランプリを受賞。2005年からは活動の場を海外に広げ、VOGUE ITALIA、VOGUE PARIS、NEW YORK TIMES MAGAZINE、DAZED&CONFUSED などの一流モード誌や WALLPAPER などのアート誌でも活躍。
久住有生	左官職人	重要文化財などの歴史的価値の高い建築物の修復ができる左官職人として、国内だけでなくとどまらず、海外からのオファーも多く、経験を積んできた。伝統建築物の修復・復元作業だけではなく、商業施設や教育関連施設、個人邸の内装や外装を手がけることも多い。現場では企画段階から参加することが多く、デザイン提案なども積極的に行っており、伝統的な左官技術とオリジナリティ溢れるアイデアが、国内外での大きな評価につながっている。
現代美術二等兵	アートユニット	ちょっと堅苦しい現代美術にクスツと笑えるスパイスを加え、見る人誰もが楽しめる作品「駄美術」を作り続ける、籠谷シェーンとふじわらかつひとの二人によるアートユニット。ユニットではあるが、作品は共同でひとつのものを作るのではなく、それぞれが制作し、展覧会時に持ち寄るソロ二人組形式。彫刻だけでなく絵画、写真など表現方法にこだわらない制作を続けている。
Chiaki kohara	アーティスト	1986年7月7日生まれ。大阪出身大阪在住。UNIQLOCREATIVE AWARD 2007 草間彌生賞受賞。イラストレーション誌「ザ・チョイス」宇野亜喜良審査入選。2011年、DMO ARTS(JR大阪三越伊勢丹)で初個展を開催。グンゼボディワイルドとのコラボ下着を制作。「Canvas @Sony2012」でグランプリを獲得し全長 38m 東京・銀座ソニービルの壁面アートウォールを手がける。「Redbull Ignition」に参加しアメリカ村の人型街路灯に直接ペインティングし話題を集める。作風としては、大きな耳に、奔放に手足の伸びた女の子たちが特徴。アクリルガッシュとボタンやレース、お菓子のパッケージなどの様々な素材で作り上げられる極彩色の世界観は、女の子なら一度は憧れたであろうワンダーランド。平面だけでなく、絵から飛び出したような世界観や空間作りに積極的に挑戦している。
下田昌克	絵描き	1967年兵庫県生まれ。1994年から1996年まで世界を旅行。現地で出会った人々のポートレイトを描き始める。この旅の絵と日記をまとめた「PRIVATE WORLD」(山と溪谷社)をはじめ、「ヒマラヤの下インドの上」(河出書房新社)など著書多数。近著に谷川俊太郎との絵本「あーん」(クレヨンハウス)と「ぶたラッパ」(そうえん社)がある。
田名網敬一	アーティスト	1936年東京生まれ。1960年代からメディアやジャンルの境界を横断して、デザイン、イラストレーション、アニメーション、実験映画、彫刻作品まで幅広く手掛け、現代の可変的なアーティスト像の先駆者として知られる。1968年に制作したロックバンド、ジェファソン・エアプレインの国内版アルバムジャケットはサイケデリックアートの金字塔的作品として有名。現在も、絵画、彫刻、アニメーションなどを数多く制作し、世界中のギャラリー、美術館、国際映画祭などで作品を発表している。
タナカカツキ	マンガ家	1966年大阪生まれ。1985年大学在学中にマンガ家としてデビュー。著書には『オッス！トン子ちゃん』『サ道』、天久聖一との共著『バカドリル』など。カプセルトイ「コップのフチ子」の生みの親。
矢島沙夜子	デザイナー/ アートディレクター	1986年東京生まれ。クリエイティブオフィス KLOKA に所属。店舗などの空間から平面、映像、インスタレーションなど企画からデザインまで一貫して行う。2013年から継続しているジオラマの作品シリーズでは、書き下ろしの物語をベースにした異なる大陸のインスタレーションを発表している。また最近ではその物語を背景にしたプロダクトを制作しショートムービーにまとめるなど、様々な手法でより身近なファンタジーの体現を目指している。

Yoshikazu Yamagata	ファッションデザイナー	2005年セントラルセントマーチンズ美術学校卒業。ジョン・ガリアーノのデザインアシスタントを務めた後、帰国。インターナショナルコンペティション ITS#three Italyにて3部門受賞。2007年リトゥンアフターワーズ設立。2008年9月より東京コレクション参加。2009年オランダアーネムモードビエンナーレにてオープニングファッションショーを行う。2011年オーストラリア、オーストリアにてファッションショーを行う。2012年日本ファッションエディターズクラブ新人賞受賞。また、ファッション表現の実験、学びの場として、「ここのがっこう」を主宰。
淀川テクニク	美術家	柴田英昭(1976年岡山県生まれ)と松永和也(1977年熊本県生まれ)により2003年に結成されたアートユニット。大阪・淀川の河川敷を主な活動場所として、落ちているゴミや漂流物などを使い様々な作品を制作する。赴いた土地ならではのゴミや人々との交流を楽しみながら行う滞在制作も得意とし、最近では東日本大震災で甚大な津波被害を受けた宮城県仙台市若林区で地元の方々の協力のもと被災した防風林を使った作品を制作した。彼らの活動や作品は中学校の美術の教科書でも紹介されている。
Colliu	アーティスト/モデル	アーティストとして活動する傍ら、モデルとして雑誌やショーなどでも活動中。目が特徴的なポップでカラフルな色彩のドローイング・絵画などを中心に立体作品やオリジナルグッズなど、様々な手法を織り交ぜながら独自の世界観を発表している。
DAISY BALLOON	バルーンユニット	世界を舞台に活躍するバルーン・アーティスト Rie Hosokai(細貝 里枝   1976年)とアートディレクター、グラフィックデザイナーの Takashi Kawada(河田 孝志   同年)からなるバルーンユニット。2008年結成以来、「感覚と質」をテーマに掲げ、バルーンで構成された数々の作品を制作。なかでもバルードレスは、繊細さが細部まで行渡った建築物を思わせ、多くの人々を魅了している。また、彼らは日々、哲学的テーマを探求して、物や人とディスカッションすることをフィールドワークとしているが、その眼差しは常に、他者との本質的な融合に向けられている。
groovisions	デザインユニット	東京を拠点に活動するデザインスタジオ。1993年の創設以来、グラフィックやムービーを中心に音楽、出版、プロダクト、インテリア、ファッション、ウェブなど様々な領域のデザインを行っている。
JUN OSON	イラストレーター	1979年愛知県生まれ、東京都在住。挿画や漫画など紙媒体を中心に、アニメ、Tシャツデザインなど幅広く活動中。主な仕事にZUCCAとのコラボレーション、NHK シャキーンの種類アニメーション、東海テレビ「かよえ!チュー学」、絵本「いろははあそぼ」などがある。
Ly	ペインター	東京出身。I HATE EVERYTHING。“DIK”をメインとしたキャラの世界を黒と白、グレーで描く。ラフォーレ原宿、パルコ、伊勢丹などでのミューラルワークや、NYでのNYLONとコラボレーション、LAやCOSTA MESA、香港でのアートショーなど国内外で活動中。
magma	クリエイティブユニット	宮澤謙一、杉山純によるクリエイティブユニット。「めまぐるしく進化を続けるテクノロジー。そのテクノロジーによって新しいものが生み出され、いらなくなったものは捨てられます。マグマはその両方を用いて、手作業でアナログ感たっぷりのクレイジーでファニーなものをつくりあげます。私たちが生まれるずっとずっと前のもの、これから先にある未来のもの、そのすべてをミックスさせて、magmaは新しい時代をつくりあげます。」2008年、東京にstudio magmaを構える。セルフワークでは、キネティックアート・オリジナルプロダクトの制作を主とし、クライアントワークでは、ムービングディスプレイ、什器・ギミックワーク・アナログロボットの制作などを主に、クレイジー&ファニーに活動中。
PK!(仲里カズヒロ / 栗田真一)	クリエイティブユニット	●仲里 “プーリー” カズヒロ / studio-pool.com 主宰。ポップで躍動感のあるイラストレーション〜アートディレクション全般。近年はキャラクター制作やTVメディアにも注力し、代表作に YTV『ダウンタウン DX』『ミヤネ屋』をはじめ多数の番組アートワークを手がける。自称、談笑家。 ●栗田真一 / 言葉によるダジャレからイメージを膨らませ、固定されがちな本来の意味を分解、再構成する、ゆるめの立体作品を得意とする。成安造形大学卒、アサヒ精版印刷所所属、アートユニット shimoken のメンバー。
plantica	クリエイティブスタジオ	花に関係するアート、ファッション、ライフスタイル、メディア…それぞれの領域を繋げながら、スペースデザイン、インスタレーションアート、テキスタイルデザイン、プロダクトデザイン、アートディレクションまで手がけるクリエイティブスタジオ。近年の代表作に〈NIKE〉「THE SUPER NATURAL RIDE」のパブリックアイコンやグリーンディレクション、〈LVMH〉「CHANDON」のキービジュアル制作、〈VIVIENNE TAM〉のフラワー・テキスタイルデザイン、〈TED x Tokyo 2012〉会場ラウンジのボタニカル・ファニチャーデザインなど。

※ 上記アーティストのほか、加賀美健(アーティスト)、牧田耕平(ブランドディレクター)、デザイン専門学校1名(1作品)、一般応募2名(2作品)、主催者制作1作品を加えた、計30作品を制作・展示予定です。

## インスタレーションアート@ナレッジプラザ

街の中央に位置する「ナレッジプラザ」では、注目の建築家・谷尻誠氏によるハローキティをモチーフにした巨大アートを展示いたします。日本のカルチャーの象徴としても認識されているハローキティの“多様性”を約1万1千個の小さなリボンで抽象化したアート作品を7フロア吹抜けのさまざまなアングルからご覧ください。



企画・デザイン:谷尻誠(建築家)



展示イメージ(北館 2Fより望む)

1974年、広島県生まれ。1994年に穴吹デザイン専門学校卒業後、本兼建築設計事務所、HAL建築工房を経て、2000年に建築設計事務所 Suppose design office を設立。現在、穴吹デザイン専門学校非常勤講師、広島女子学院大学客員教授を務める。これまで手がけた住宅は100軒を超えるほか、2010年ミラノサローネのインスタレーション「LUCENTE」、メガネショップ「JINS」、ファッションブランド「HusHusH」などの店舗デザインも数多く手がける。昨年は東京駅前の商業施設「KITTE」のクリスマスツリーを企画・デザイン。生木を使った圧倒的な存在感のクリスマスツリーを作り上げ大きな反響を得た。

## 関西国際空港にアートキティ1作品を展示し、海外観光客をお出迎え！

グランフロント大阪は、アジアとの近接性を活かし、アジアを中心とした海外観光客の誘致や海外機関との連携を推進しておりますが、この1周年イベントにおいては、新関西国際空港(株)協力のもと、関西国際空港第1ターミナルビル1階国際線到着フロア中央「関西観光情報センター」前において、タイ出身のマンガ家で日本への留学経験のあるウイスット・ポンニmitt氏によるアートキティを展示し、海外観光客をお出迎えいたします。

今後も、日本国内にとどまらず、海外からも親しまれるまちを目指して、大阪・関西と海外を結ぶ架け橋となる活動を積極的に展開していきます。

## オープンアトリエ@うめきた広場

JR大阪駅前に広がるうめきた広場では、4月25日からの Art Kitty Parade 開催に向けて、4月15日より、アートキティを制作するためのアトリエとして開放いたします。普段は見る機会の少ない、アート作品ができあがるまでの制作過程もぜひご覧ください。

- ・ 期間 4月15日(火)～4月24日(木)
- ・ 場所 うめきた広場

※ スケジュールの都合上、一部アーティストは不参加となります。参加するアーティスト及び参加日時については、施設公式 Facebook にて随時お知らせいたします。



うめきた広場オープンアトリエイメージ

## オリジナルアートキティ制作ワークショップ

アーティストによる「アートキティ」を見て楽しむだけでなく、どなたでもご参加いただける、オリジナルの「アートキティ」を制作するワークショップも開催いたします。素焼きのハローキティに、アクリル絵の具等を使って思い思いのデザインを描いていただく催しで、作品はそのままお持ち帰りいただけますので、ご家族、ご友人とともにご参加ください。

- ・ 開催日時 4月26日(土)、27日(日)、29日(火・祝)、5月3日(土)～6日(火・休)
- ・ 開催場所 北館3F イベントスペース(※日程により変更となる可能性あり)
- ・ 開催時間 ①13:00～、②15:00～、③17:00～(各日共通)
- ・ 参加人数 25名(組)／1回
- ・ 参加方法 各回1時間前より会場受付にて整理券を配布いたします。

以上